

高津区おはなしアーカイブ

●内田 義一(うちだ よしかず)さん

昭和14年生まれ 75歳

川崎市高津区新作在住



◆7人兄弟の末っ子でした

私は男が4人、女が3人という7人兄弟の末っ子なんです。新作生まれ、新作育ちです。子どもの頃は新作3丁目に住んでいました。現在はJR南武線武蔵新城駅に近い新作6丁目に住んでいます。

小学生の頃は家のことはよく手伝っていましたよ。お風呂は、井戸から水を汲んで、薪でわかしてね。ご飯も炊いてましたね。それから犬や鳥を飼っていたもんで、その朝夕のエサやりも私の仕事でした。

当時、溝口駅前に多摩食というパン屋さんがありまして、そこに小麦粉を持っていくと食パンと交換してくれたんです。自転車に乗って食パンを貰いに行くのも私の役目でした。

手伝いもよくしたけど、周りには自然がいっぱいだったから、近所の友達といっぱい遊びましたよ。

◆小学校低学年のころは着物で通学していました

小学校は橘小に通っていました。低学年のころは着物を着て通学していましたね。時々、立派な洋服を着ている子がいるの。買ってもらったんじゃないかとね、都会の人から米や野菜と物々交換で手に入れたものなんだよね(笑)。記念写真なんか見ると、皆立派な洋服を着てますよ(笑)。

小学校の運動会では、足も速かったんでリレーの選手でした。

でもね、親が運動会に来てくれたって覚えがないですね。私のところだけじゃなくて、皆ね。農家だったから畑仕事が忙しいからね。

◆昔はリヤカーごと渡し船に乗れたそうです

私も作物の出荷のときは、両親を手伝ってリヤカーや荷車を押しました。道すがら湧水があつて、ヤマガニがウロチョロしてました。地面には貝殻が埋まっています。昔は海だったんだなって思いました。

両親から聞いた話ですが、昔は二子から瀬田へ渡し船があつて、リヤカーごと乗れたそうです。でも順番待ちが長くて、船頭さんに心付けをしたら早く乗せてくれるっ

て話でしたね（笑）。そうやって野菜や米を東京まで売りに行くと、地元の市場より良い値で買ってくれたそうです。

◆グラマンのタイヤで消しゴムを作ったよ

終戦は小学校1年の時でしたね。戦時中には川崎に焼夷弾が落とされたりして、そっちのほうの空が赤く染まっていたのを覚えています。

新作にグラマンが墜落したことがありました。後から見にいて残骸を拾って遊んだな。タイヤの部分のゴムだったのかな、消しゴムにしたりね（笑）。

◆天井からホコリが落ちてきた

中学は高津中でした。南武線の線路を越えて通うんだけど、その頃は踏切があるところまでは遠いので、気をつけて近道をして線路を渡りましたね。

高津中はクラスの数が多かったですね。教室の天井、つまり上の階の床が板一枚だったので、上の階で人が動き回るとホコリが落ちてきて（笑）。

高津中は野球が強かったんですね。川崎市野球大会で優勝もしていました。全般にスポーツが強かったですね。

◆相撲大会や素人芝居、楽しみでした

市民プラザの近くに養福寺ってお寺があり、終戦近くにはそこで勉強したり遊んだ

りしていたもんですよ。そのころは市民プラザ通りなんてまだなかったですよ。山にほら穴があって、そこで戦争ごっこしたり、粘土の玉を投げ合ったりね。相撲大会もありましたね。また、栗やスイカを採って叱られたこともありました（笑）。

八幡宮ではお芝居や秋祭りには出店もでて大変楽しかったですよ。何年かに一回は旅芝居がやってきたけれど、いつもは地元の人たちの素人芝居でした。

お金のかからない遊びばかりしてました（笑）。

◆竹に登ってターザンになった気分がかくれんぼ

夏には虫捕りもよくしました。蟬捕りの時はね、輪っかに蜘蛛の巣をはりつけて、それで捕まえたんです。よくくっついてね、うまくいくんですよ。

トンボは田んぼに行っって手で捕まえていました。慣れるとどこを飛ぶか分かるようになるんだよね。

小鳥もよく捕まえて遊びましたね。メジロは網の仕掛けを作って、ミカンを餌にするんです。スズメはカゴと縄で仕掛けをしてね。

虫も鳥も捕まえるのは面白かったけど、捕まえた後はいつも放してやりました。

竹もいっぱいありましたから、竹を細工して竹トンボや竹馬を作りました。それから、竹に登ってかくれんぼするの。高いと

ころまで登るとね、竹がしなってターザンみたいな気分になれるんですよ(笑)。

◆カメラのレンズは石けりに丁度いい!

末長小学校のあたりは田んぼを埋め立てて原っぱになってたから、あそこでもよく遊びましたよ。土を運ぶためのトロッコがあって、それに乗って遊ぶの。面白くてね、危ないからって叱られたけど、でもやってましたね。

末長の山に大きな防空壕があって、いろんな資材を置いてあったんです。置いてあったというより放置されてたような、ね。そこから色んなものを拾ってきて遊び道具にしていました。

レンズがいっぱいあったんで、それで石けりみたいなことして遊んでました。今思えば、多分あれはカメラのレンズだったんでしょうねえ(笑)。

あと、あれはベアリングだったのかな、小さな鉄の球も拾ってきて、それで手作りの自動車を作って遊んだなあ。

とにかく外でばかり遊んでましたよ。そういえば、ベーゴマが禁止されました。物を奪い合うのがいけないっていう理由だったと思います。

◆食用ガエルを南京袋に詰めて…

当時は小遣いなんて、お祭りやお正月にちょこっと貰えるだけだったから、小学校

の高学年になると、いろいろ小遣い稼ぎもしていました。

食用ガエルを捕まえて、皆の分を集めて南京袋に詰めて売りに行くの。売れたお金は皆で分配していました。

ドジョウは魚屋に持ってったら売れたし、サンショウやウド、ゼンマイは八百屋で買ってくれました。

タニシは売らないで家で佃煮にして食べましたね。

中学になったころには住宅が建ち始め、いろいろな商店もでき始めました。

人が増えると店が忙しくなる。それで魚屋から頼まれて、アルバイトをしました。なにしろ氷水のなかに手を突っ込まなくちゃいけないから、冬は辛かったですね。

高校になると、夏休みに学校の先生がアルバイト先を紹介してくれました。町田の洋品店で働きました、思い出のひとつですね。

◆これからは環境問題に取り組まねばと誘われて公務員になりました

最終的に大学は、東京の工業大学の化学科に進みました。この頃は中学で就職する人が多かった時代でした。そんな時代に上の学校まで行かせてくれた両親には感謝しています。

卒業後の就職先は、よりどりみどりでした。その時に川崎市から「これからは環境問題に取り組まねばならないから、化学の

できる人にぜひ来てほしい」と誘われたんですよ。そうしたら父親が大喜びしましたね。それで結局公務員の道を選びました。

◆市で初めての下水処理場建設に携わりました

川崎市で初めての下水処理場を作るための建設事務所に配属されました。そこで先輩職員から大歓迎してくれたんです。

業務は主に下水処理及び工場排水の規制等でした。

川崎市には昭和36年に就職して定年まで勤め、その後も別のところで数年働きました。

◆耕地整理と下水道完備で快適な町になりました

地図を見てもらったら、この地区の道路が碁盤目に整っていることが分かるでしょう？この地区は早くから耕地整理に取り組んでいましたからね。終戦後、私の父なども、家を建てる前にまず耕地整理だって、そのために随分頑張っていましたね。

地域全体のことだから大変なことだったでしょうけれど、住んでいる人たちが昔からざっくばらんで、まとまりが良かったんですね。水道が引かれたのも早かったです。

昭和40年代後半まではよく浸水していたんですよ。田んぼを埋め立ててからですね。それ以前は田んぼが雨水滞水池の役割をしてくれました。でも、昭和50年ごろ

から下水道整備が進み、その後は浸水しなくなりました。

◆ここをふる里と思って協力し合っていきたい

市役所に勤務していた頃、当時の自治会長から手伝ってくれないかと頼まれましてね。でも公務員だとできることも限られるから、時間に融通がきく会計監査を引き受けることになりました。その後退職してから副会長、会長と引き受けて、十数年やらせてもらってます。

何はともあれ自治会活動は、ボランティア精神がなければ出来ません。

私は、いつも会員の皆様には、地域のことは皆様と一緒に協力しあい、この町をふる里にしたいと話しています。

(平成26年10月27日実施)